

# 栃木県立馬頭高等学校（普通科・水産科）

馬頭高校には、普通科と水産科があります。単位制の導入により、自分の進路に合った多様な選択科目の受講が可能となりました。この中の普通科選択科目に「農業と環境」が設定され、将来、農業に従事する上での基礎的な学習もできるようになりました。令和3年度は栽培学習だけでなく、農業の持つ多面的機能や地域交流の学習として、地域の町立こども園と収穫による交流学習を取り入れ、「総合的な探究の時間」も含め、幅広いニーズに対応できる活動を行っています。

## 普通科選択科目「農業と環境」

学校農場での栽培活動を通して、農業技術の基礎と環境保全について体験的な学習を行います。

普通科に農業の科目が設定されて3年目となります。昨年度までは西洋野菜を主とした露地野菜の栽培を中心にしていましたが、令和3年度からは栽培+地域交流を主眼とした学習に取り組んでいます。



### 令和3年度の主な取り組み内容

西洋野菜「トレビス」の栽培と栽培方法の普及（6月）、町立こども園との交流授業「ジャガイモの収穫体験」（7月）、西洋野菜「ルタバガ」の栽培と栽培方法の普及（11月）、町立こども園との交流授業「タマネギ、ダイコンの収穫体験」（12月）など。

## 水産科の主な活動～水に親しみ、水から学ぶ～

全国唯一の海なし県に設置された水産に関する学科です。特徴は、水産物の増養殖、食品加工、水辺の環境保全など多岐に渡って学習できることです。関係機関と連携し、教育課程に連動した様々な研究活動を行っています。主な進学先は4年制大学や専攻科、海上技術短期大学校等で就職先は県内外の養殖場や水産加工会社を中心に、各種生産業・製造業等です。

### 課題研究

水産に関する学習内容の中から、興味のある分野の研究を主体的に行う課題解決型授業です。

### リバースタディ

学校設定科目「リバースタディ」は、河川における自然体験活動を中心とした自由選択科目です。「農業と環境」の修得と合わせると、普通科生徒も農業・水産に関して学習することができます。

